

『トートラ人体の構造と機能 第5版（原書15版）』正誤訂正のお詫びとご案内

本書の記述に間違いがございました。

謹んでお詫び申し上げますとともに、ここに訂正申し上げます。

行数の↓は上から、↑は下から数える

該当箇所	誤	正	掲載日
p.9 図 1.2 の水色の四角の中, 左上	血液細胞 Body cells	体細胞 Body cells	2021.7.9
p.52 図 2.20	(a) イオン化していない アミノ酸の化状態	(a) イオン化していない アミノ酸の状態	2021.7.9
p.57 図 2.25(a)の四角の枠内, 左	デオキシリボース糖	デオキシリボース	2021.7.9
p.107 左段↓19	…いくつかの記拠…	…いくつかの証拠…	2020.12.8
p.120 表 4.1C. 「特徴」 中↓3	亜形	亜型	2021.2.24
p.123 表 4.1G. 「局在」 中↓1 (2箇所)	亜形	亜型	2021.2.24
<ul style="list-style-type: none"> ・ p.129 右段↓17 ・ p.710 左段↓9 ・ p.862 左段↑7, 6 (2箇所) ・ p.864 右段↓11 ・ 索引 p.1221 最左段↑28 (固着性大食細胞のみよ項目) ・ 索引 p.1221, 3段目↓25 ・ 索引 p.1231 最左段↑28 (組織球のみよ項目) 	固定マクロファージ fixed macrophage	定着マクロファージ	2023.11.8
p.249 右段↓3	親指の根元で, …	手根の外側で, …	2023.11.8
p.261 右段↑13	足根骨の前方にあるのは…	足根骨の前部にあるのは…	2023.11.8
p.282 表 9.1 キャプション	骨膜性の…	滑膜性の…	2023.11.8
p.320 左段↑2	…筋小胞体から筋形質膜へと	…筋小胞体から筋形質へと	2021.10.19
p.415 「医学用語」 左段↓2	= -oma = 腫瘍	-oma 前の「=」は削除	2020.7.10
p.430 訳注	* 訳注 :	* 訳注 [前ページ] :	2023.11.8
<ul style="list-style-type: none"> ・ p.512 左段↑7 ・ p.513 図 14.10 中, 右 ・ p.513 右段↑6 ・ p.522 表 14.2 右段「間 	視 (神経) 交叉上核	視交叉上核	2020.7.10 2023.11.8

<p>脳」の「機能」中↑6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ p.542 右段「14.5 間脳」 3. ↑3~2 ・ 索引 p.1223 最右段↓8 			
<ul style="list-style-type: none"> ・ p.555 「臨床関連事項：ホーナー症候群」見出し、 ↓3 	ホーナー症候群	ホルネル症候群	2020.7.10
<ul style="list-style-type: none"> ・ p.555 " ↓4 	眼下垂	眼瞼下垂（瞼裂狭小）	2020.7.10
<ul style="list-style-type: none"> ・ p.561 表 15.4 中「腺」 中、最左段・最下行 ・ p.676 左段↓9 ・ p.696 左段↓9 ・ p.1054 図 26.2(a)中 ・ p.1056 左段↓12, 13, 14 (計 3 箇所) ・ p.1060 図 26.10 中、上の 緑の四角の中、「受容器」 の四角の中、「調節中枢」 の四角の中 (計 3 箇所) ・ p.1061 左段↓12 ・ p.1067 右段↑1 ・ p.1068 左段↓1 ・ p.1084 「心臓血管系」 中、↓5 ・ p.1087 「章の概要」右段 ↓12 ・ 索引 p.1242, 2 段目↑32, 30 (2 箇所) 	<p>傍糸球体細胞 〔傍糸球体装置〕</p>	<p>糸球体傍細胞 〔糸球体傍装置〕</p>	2023.11.8
p.569 ↑22~21	<p>感覚受容器は、刺激のエネルギーを形質導入transduction 変換として知られる過程で、 …</p>	<p>感覚受容器は、刺激のエネルギーを変換 transductionとして知られる過程で、…</p>	2023.11.8
p.583 表 16.3, 3 行目の図 中、下の引き出し線	前脊髄 視床路 Anterior spinocerebellar tract	前脊髄 小脳路 Anterior spinocerebellar tract	2020.7.10
p.585 「直接運動運動経路」 ↓2	関節 経路	間接 経路	2020.7.10

p.622 右段↓5	phosphoriesterase	phosphodiesterase	2023.11.8
p.629 右段↑3～2	1 dB の上昇は、音の強さが10 倍になったことを意味する。	10 dB の上昇は、音の強さが10 倍になったことを意味する。	2022.6.20
p.662 図 18.7 紫の四角の中, ↓4	交感神経活動	交感神経系の活動上昇	2022.1.5
〃 ↑2	エストゴゲン	エストロゲン	2021.7.9
p.664 右段↑5	vaso=血液	vaso=血管	2020.7.10
p.666 右段↓2～3	(anti=抗; -dia =のあいだ中; -ouresis =排尿)	(anti=抗; -dia =完全に; -ouresis =利尿)	2023.11.8
<ul style="list-style-type: none"> ・ p.198 右段↑9 ・ p.653 表 18.2 中 「分泌部位」の↑5 ・ p.668 図 18.9(b) ↓1 ・ p.669 左段↓5 ・ p.671 「カルシトニン」 ↓1 ・ p.671 表 18.6 「カルシトニン」の図中 (2 箇所) ・ p.672 図 18.12(c)下, 図の下 Q 中 (計 2 箇所) ・ p.673 右段↑9 ・ p.673 図 18.13①中 ・ p.695 右段↑9, 7 (2 箇所) ・ p.697 「Q 図の質問の答え」左段↑1, 右段↓5 (計 2 箇所) ・ 索引 p.1242, 3 段目↓22 	傍濾胞細胞 parafollicular cell	濾胞傍細胞 (傍濾胞細胞) parafollicular cell	2020.7.10
<ul style="list-style-type: none"> ・ p.671 右段↑2 ・ p.672 図 18.12(b)下, (c) 上 (計 2 箇所) ・ p.673 左段↓4 ・ 索引 p.1220 最左段↑1 	好酸素性細胞 Oxyphil cell	酸好性細胞 Oxyphil cell	2023.11.8
p.710 右段↓14, 16 (2 箇所)	リンパ液	リンパ	2023.11.8
p.712 右段↓14	定住マクロファージ	定着マクロファージ	2023.11.8
p.712 左段↓20～17	(訳注: P-Q 間隔という…)	[第 2 パラグラフ, 「心電図の	2023.11.8

(第3パラグラフ, 「S-T部分は…」のパ ラグラフの最後)		解析には、…」のパラグラフの 最後に移動, 第2パラグラフ中 の, P-Q 間隔についての訳注の ため]	
<ul style="list-style-type: none"> • p.850 右段↓4 • p.853 図 22.4 下, 毛細リ ンパ管の説明中 • p.890 「医学用語」中, 「リンパ浮腫」↑2 	組織液	組織間液	2023.11.8
<ul style="list-style-type: none"> • p.853 図 22.4 		<p>[集合リンパ管の*については, 850 ページ左段下の訳注 参照]</p> <p>[静脈角の*については, 訳 者による追記であることを示 す. 851 ページ左段↑13~12 の訳注も参照されたい]</p>	2023.11.8
p.901 左段↑8	喉頭蓋 epiglottis (epi=上 方; glottis=舌)	喉頭蓋 epiglottis (epi=上 方; glottis=声門)	2024.1.11
<ul style="list-style-type: none"> • p.908 左段↑6 • p.909 図 23.10(c)中, 左下 同図(e)中, 右下 • p.941 「章の概要」右段 ↓6 • p.943 「Q 図の質問の答 え」左段↑11 • 索引 p.1227 最左段↓25 	心圧痕	心切痕	2023.11.8
p.908 図 23.9 右	胸大静脈	胸大動脈	2023.11.8
p.908 左段↓8	胸腔	胸膜腔	2023.11.8
p.908 右段↓7	第7肋間腔	第7肋間隙	2023.11.8
p.928 左段↑2	…2 つのおよびグロビン鎖の …	…2 つの α および β グロビン 鎖の…	2023.11.8
p.948 右段↓11	…知覚性の…	…感覚性の…	2023.11.8
p.960 右段↓3	輪状筋繊維	輪走筋繊維	2023.11.8
p.965 図 24.15 右上	腸液 Interstitial fluid	組織間液 Interstitial fluid	2020.7.10
p.969 右段↑18	肝類洞 hepatic sinusoids は 肝細胞索のあいだにあり,	肝類洞 hepatic sinusoids は 肝細胞索のあいだにあり,	2022.2.18

	(固有) 肝動脈の枝からの酸素を多く含む血液と門脈の枝からの 栄養素 や酸素の少ない血液を受け入れる.	(固有) 肝動脈の枝からの酸素を多く含む血液と門脈の枝からの 栄養素が多く , 酸素の少ない血液を受け入れる かなり透過性のある毛細血管 である.	
p.977 右段↑3	輪 状 筋繊維	輪 走 筋繊維	2023.11.8
p.979 右段↑17~16	トリグリセリドと リン脂質 とを…	トリグリセリド や リン脂質を…	2023.11.8
p.986 右段↑15	内輪 状 筋層	内輪 走 筋層	2023.11.8
p.1000 右段↓12	リンパ 液	リンパ	2023.11.8
p.1004 右段↑18	生体内の細胞はグルコース か ら アミノ酸 を合成し, …	生体内の細胞はグルコース を 使 って アミノ酸 を合成し, …	2021.2.1
p.1091 図 27.1(a)	細 液 内液(ICF)	細 胞 内液(ICF)	2020.7.10
p.1160 左段 28.1 の 1. ↓7~8	肉様筋は陰嚢を堅くしまった状態になり, 表面に皺をつくる.	肉様膜によって陰嚢は堅くしまった状態になり, 表面に皺ができる.	2020.7.10
p.1169 右段↓	…もう一つの 酵素 である…	…もう一つの ホルモン である…	2023.11.8
p.1195 図 29.21 中, パネットスクエア中の右下の四角 ($Hb^s \times Hb^s$) の中	$Hb^A Hb^S$	$Hb^S Hb^S$	2023.11.8
p.1206 右段↑2 (Chapter22 の 2. ↓5)	間質液	間質液 (組織間液)	2023.11.8
p.1220 最左段↑1	好酸素性細胞	酸好性細胞	2023.11.8
p.1221 最左段↑28 (固着性大食細胞のみよ項目)	固定 マクロファージ	定着 マクロファージ	2023.11.8
p.1221, 3 段目↓25	固定 マクロファージ	定着 マクロファージ	2023.11.8
p.1223 最右段↓8	視 [神経] 交叉上核	視交叉上核	2023.11.8
p.1227 最左段↓25	心 圧 痕	心 切 痕	2023.11.8
p.1231 最左段↑28 (組織球のみよ項目)	固定 マクロファージ	定着 マクロファージ	2023.11.8
p.1242, 2 段目↑32, 30	傍糸球体細胞 傍糸球体装置	糸球体傍細胞 糸球体傍装置	2023.11.8
p.1242, 3 段目↓22	傍濾胞細胞	濾胞傍細胞	2023.11.8
p.1242 最右段↓13	ホーナー症候群	ホルネル症候群	2023.11.8